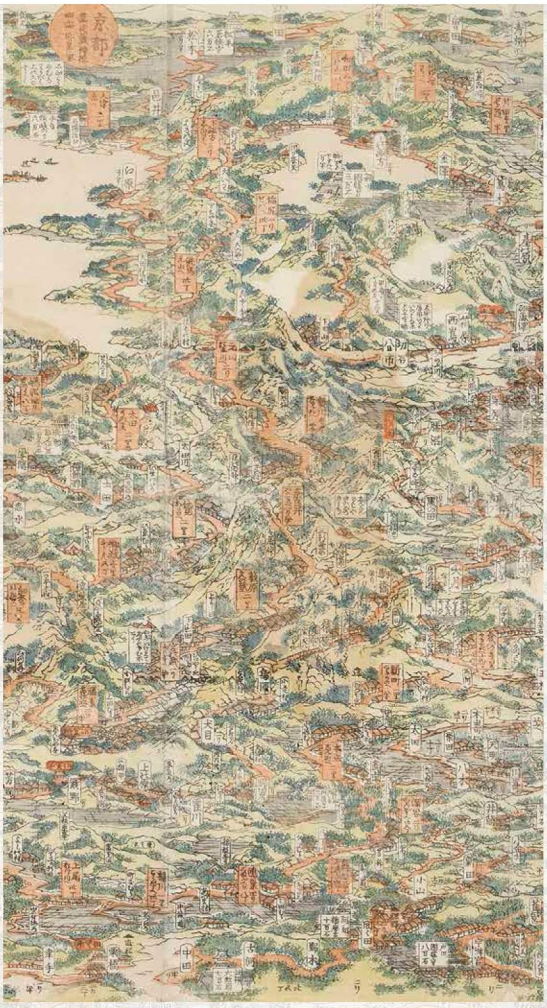
あら珍しや!!

初期役者絵と鳥瞰図

今回の展覧会では、当館が所蔵する葛飾北斎の初期役者絵と鳥瞰図に焦点をあててご紹介します。

葛飾北斎の多彩な作画人生において、デビュー作となった作品は役者絵でした。安永7（1778）年、勝川春章に弟子入りした北斎は、翌年に「春朗」を名乗り、役者絵を中心としたあらゆる注文に応えながら絵師として名を広めていきます。また西洋の技法に着目し、当時としては画期的だった透視図法（遠近法）を用いた浮絵を描くなど、役者絵にとどまることのない、従来の絵師とは異なる習作期を過ごしました。



一方、鳥瞰図は「鳥目絵」とも呼ばれ、空高く飛ぶ鳥の視点で描かれた作品をいいます。北斎の鳥瞰図は、「戴斗」の雅号を名乗る文化7（1810）年頃から描かれ始め、細やかな描写は当時の北斎の画力が非常に高かったことをうかがわせます。またこれらの作品には、広大な範囲を紙面に描ききる卓越した画技と固定観念にとらわれない自由な発想力が発揮されています。このような大胆な構図は、のちの「冨嶽三十六景」を代表する風景画に活かされていくことになります。

春朗時代の役者絵、戴斗時代から続く鳥瞰図、共に北斎が培ってきた画業の一部ですが、現存する作品は多くありません。本展では、希少な初期役者絵、鳥瞰図の他にコミカルな鳥羽絵などを展示し、北斎が次第に才能を開花させながら、あらゆる題材に取り組んでいった様子をご紹介します。画狂人北斎へと通じる過程、その一端をどうぞごゆっくりご覧ください。

北斎館ご案内

■開館時間
午前9時～午後5時
（ご入館は午後4時30分まで）

■駐車場
北斎館駐車場（北斎館に隣接）
大型車・中型車2,000円
マイクロ1,500円
普通車400円

■アクセス
●電車ご利用の場合
JR長野駅「善光寺口」を出て長野電鉄特急約20分、普通約30分、小布施駅下車徒歩12分
●車でお越しの場合
国道18号線「豊野」信号から約10分、上信越自動車道「小布施PAスマートインター」（ETC車専用）から約8分、「須坂長野東インター」から約20分、「信州中野インター」から約15分

信州小布施 北斎館
〒381-0201 長野県上高井郡小布施町大字小布施485
TEL.026-247-5206 FAX.026-247-6188
http://hokusai-kan.com/

善光寺平アートライン